

# スマイル タウン

人が好き **笑顔** がステキな街が好き

2020  
9・10  
月

第309号



**Uの社会教育センター**は、市民のみなさまの“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する施設として、1969年に日野市と(財)社会教育協会が協定書に基づいて設立しました。今月もセンターで生きがいを創り出される沢山の市民の方々の活動をお伝えします。

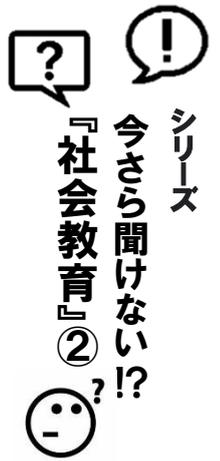
## 青少年クラス「スポーツ教室」



スポーツを  
楽しむための入口

- シリーズ「今さら聞けない!?『社会教育』」②
- 表紙の講師は…「スポーツ教室」講師・渡邊和英
- センターからのご案内
- モグモグレシピ・賛助会・寄付お礼





シリーズ

今さら聞けない!?

『社会教育』②



## 第2回「コロナ禍の今。」

### 『社会教育』に出来ることは。」

前回、第1回の「社会教育って、そもそも何!？」を読んでいたいただき多くの反響をいただきました。ひの社会教育センターでは、職員・スタッフ、学生リーダーと、前回同様、東京都立大学の荒井文昭教授を交え、座談会を開催しました。前回の記事に感想を寄せていただいたことをきっかけに、日野市の教育行政に長く携わる米田裕治さんもお誘いし、「社会教育に関わる仲間」が集まりました。

まずは全員自己紹介。お互いの立場は、いろいろあるけれど「〜さんと呼び合う」こと。話は「最後まで聞こう」。そして、マスクで顔の半分が隠れているので、「目もとはにっこり」と約束。この場にどうして参加しているのか、そもそも「ひの社会教育センター」との付き合いの始まりなどを各々話すところから始まりました。

3月から日本中、世界中で全てが止まってしまったような状況の中、センターも例外ではなく、講座の休講、ひの自然学校やイベントの中止、休館の日々が続きましました。しかし、「こんな時こそ、社会教育施設として『学び』や『つな

がり』を止めてはいけない」という思いのもと、オンラインでの集いや講座を開設しました。突如として訪れた「*COVID-19*コロナ」時代。人と人が出会うからこそ生まれる「社会教育」の現場で、直接の出会いが減少していく状況下、どんなことが私たちに求められ、実行していけるのか、思いのままに話し合いました。

各々の参加メンバーから「社会教育」を感じた体験談を聞いた後、3グループに分かれ「現在のコロナ禍、何を感じているか。そして日野の街でどうしていったらよいか。新たな価値の創造を目指す」というテーマで意見交換をしました。



▲「えんたくん」という名の円形のボール紙に、自由に書き込みます



▲0才も参加できる、座談会。

そこで出た意見を一部紹介します。

●センターでは、事業の対象年齢が0才から高齢者までにわたり、内容も歌や楽器、語学、体操、キャンプなど、「密」や「飛沫」を避けられないものが多い。新型コロナウイルスへの「こわい」気持ちと、事業を「出来る」という思い。狭間に立つと開催の判断が難しい。また、人によって許容できる範囲が違う、ということも課題になっている。

●オンラインでのやりとりがどんどん活発に便利になる一方で、オンライン世界で育つ子どもたちの未来はどうなる…?という懸念。直接会うことの価値を知っている私たちにできることは何か。





●高齢者が出かけられない、集まらない、コミュニケーションがとれないことへの不安を耳にする。

●コロナをよく知って、正しく恐れる。不確かな情報にあおられてしまうと恐怖が増大する。情報を正しく受け取ることの必要性を。

【米田裕治さんより】

今日集まっているみんなのセンターのイメージは、『人と人が支え合って、つながりあっていて、人間くさい。ひとりひとりが大切にされている。ひとりひとりに役割と居場所感がある。そういうことを作ってきたところがセンターっぽい』。

自分を最後まで自分らしく創造すること、どんな人間になる？ということとは、他者がいるからわかることである。不自由な中でこそ、自分の本当の願いやその本質に気付く。ここは、専門家集団だけど、専門家っぽくなく、ここに集まる人間集団が、『その一人』を応援する環境をつくっていると感じる。

コロナがもたらした不自由さによって、「こわい」と「こう在りたい」というところの葛藤がうまれる。

人それぞれ、それがわかるようになるには、時間がかかるが、自分との対話・人と人との対話・時代との

対話の中で新しい目標・新しい幸せ感をみつけていくことが大事である。

〈まとめ〉

センターでは、感染症対策をしながら、現在多くのプログラムを再開しています。ですが、最終的にプログラムへの参加を決めることは、自分自身の判断が必要です。その結果、「参加しよう！」と決断した人のためにも、センターは門を開いて皆さんの利用をお待ちしようということがひとまずの目標となりました。



―座談会のまとめ―



【荒井文昭先生より】

言葉のイメージは人それぞれ違いますが、学習は自分らしさを創造するものであり、対話関係抜きでは自分らしさは生まれないものである。

教育には社会を持続させる役割があるが、持続の仕方が問題で、学校教育では時代時代で、そのときに「大事」とされるのが教えられる傾向にある。

しかし、今を生きている人にとっても、おもしろいということも、教育を通じて実現することこそが大事で、この時代で何が大事かわからないところから出発することが必要。

教育の自律性が次の価値を生み出し、次の社会を創造する。

センターの強みである自由・自立性を守りながら、国や社会にその条件を支えてもらう仕組みが必要。

コロナ禍の今も、その先のどんな時代も、ひの社会教育センターのような社会教育施設が、すべての人の学習の権利を生涯にわたり保証する場であり続けることが大事である。

コロナ禍だからこそ、新しい目標、新しい幸せ感を見つげるために、今、あなたの学びたいこと、やってみたいことをお知らせください。一緒につくりだしていきましょう。

表紙の講師は…

『スポーツ教室』

渡邊 和英 (愛称・かずきち)

プロフィール

中学校から大学まで10年間、陸上競技を行う。高校時代にはインターハイ優勝。大学時代には十種競技にて、全日本ジュニア、関東インカレ等の試合に出場。ひの社会教育センターの職員として、幼児からシニアまで全年齢の体づくり事業を担当。

教室の内容

スポーツ教室は、年齢ごとに就学前幼児の「キッズスポーツ」、「小学生スポーツ」、「中高生スポーツ」があり、渡邊と、スポーツ大好きな学生・社会人スタッフがサポートしています。



体の動かし方を、ボールやとび箱や器具を使って、わかりやすく伝えるよう工夫しています。楽しく取り組める雰囲気づくりを心掛けています。

会員さんへの応援メッセージ

運動が苦手だと思っている子どもさんいるけど、体の動かし方や楽しみ方がわかれば、「またやりたい！」って思えるよ。(かずきち)





日野社会教育センターが市より受託運営している、  
百草の子育て支援カフェ『モグモグ』の大人気レシピ  
をご紹介します!ご家庭でもチャレンジしてみてくださいね

『モグモグ』では日替わりランチ¥570、こどもランチ¥160で提供しています。  
コーヒーなどのドリンクも¥100~¥130と、とってもリーズナブル!

## 第6回 メニュー紹介!

### 『たっぷりきのこのクリームグラタン』

きのこは火を通すとカサが減るので、たっぷり入れましょう。食べやすい大きさにほぐしたり、切ったり…お子さんと一緒に作っても楽しいですね!

<材料> 2人分

- ・じゃがいも 中2個
- ・きのこ(色々お好みで) 200g~300g
- ・玉ねぎ 1/2個
- ・バター 又は マーガリン 大2
- ・小麦粉 大3~4
- ・牛乳 2カップ
- ・生クリーム 1/2 カップ
- ・塩・こしょう・サラダ油
- ・ピザ用とろけるチーズ お好みの量  
(スライスチーズでもOK その時はちぎって)



### つくりかた

- ①じゃがいもは洗って、水分のついたままラップで包んで電子レンジ600Wで5分くらい柔らかくなるまで加熱
- ②フライパンにサラダ油を熱し、きのこ、玉ねぎを炒める。しんなりしたらバター又はマーガリンを加えて全体にからめる
- ③小麦粉を加えてからめるように炒める
- ④粉っぽさがなくなったら、いったん火を止めて牛乳を加えて中弱火でこげないようにまで煮る
- ⑤ふっふっして全体がトロツとしてきたら、生クリームを加えてひと煮たちさせ、塩、コンショウで味を調える
- ⑥グラタン皿に①のじゃがいもを入れ、上から⑤のソースをかける
- ⑦チーズをのせてオーブン又はオーブントースターで焼く  
※オーブントースターなら 10分位、オーブンなら 250℃で5分位、こんがり美味しそうな焦げ目がつくまで焼きましょう

★できあがり★

## 賛助会へのご協力 ありがとうございます

★順不同・敬称略

- ①個人会員 1口 1,000円
- 槍佐やい 3口 廣本隆彦 20口 中野中 3口  
 錦戸民子 3口 笹本竹司 5口 野田君江 3口  
 小野口敬一 5口 大塚喜久子 3口 鍛代年子 3口  
 本間テル子 3口 古谷靖幸 3口  
 佐藤ヒサ子 10口 鳥居由幸 5口 鈴木あけの 10口  
 長澤成次 5口 山田佳子 3口 名取潮子 1口  
 戸枝明美 3口 林幹高 10口 金子尚弘 3口  
 原田茂・晴美 10口 榊原和子 10口 川松ゆり 5口  
 中能孝則 5口 菊池一春 3口 金子美千代 3口  
 越智久子 3口 田村省三 1口 伊藤昭夫 3口  
 竹内政幸 5口 佐藤眞砂 10口 鳥田和子 5口  
 村上敏雄・悦子 3口 山口和子 10口 長岡音繪 1口  
 曾根学 2口 池田好洋 5口 藤巻誠 5口  
 志賀勝子 3口 赤堀みち子 3口 稲山恵久 3口  
 増田準一 3口 只木貞吉 3口 山下久美子 3口  
 熊谷亜由美 5口 遊馬和夫 3口 石川博 5口  
 疋田卓三 3口 蔵品泰治 3口 鈴木美奈子 5口  
 高山和一 3口 荒井文昭 10口 吉澤佐久子 10口  
 笠井純 1口 新保敦子 1口 小俣三千代 3口  
 遠藤佐知子 3口 小林照明 10口 橋本弥生 5口

- ②団体会員 1口 5,000円
- 日野混声合唱団 2口 いにしえ体操会 1口  
 手話ダンスカワセミ 1口 友遊ケアセンター 2口  
 至誠第二保育園 1口 大和興産(株) 4口  
 多摩平の森自治会 2口 かたくり法律事務所 2口  
 寿楽会 2口 八王子合同法律事務所 1口  
 南観光交通(株) 2口 (株)オンリーワン 1口  
 デザインU 1口 たすけあい青空 1口

賛助会費の振込用紙に記入いただいた応援メッセージの一部をご紹介します。

- ・新型コロナウイルス感染が早く収束し、社会教育活動が元に戻ることを期待しています。
- ・夢をもって実現させましょう!
- ・コロナで大変と思いますが、頑張ってください
- ・まだ一度も伺ったことはありませんが、市民が創るセンターの理念に共感し応援させてもらっています。
- ・コロナを上手に乗り越え頑張りましょう!
- ・ご発展を祈ります。
- ・「みんなでつないだ50年」幾多の困難もあったと思います。市民とともに作り上げた新しいセンターでさらなる発展を。
- ・考えもしなかった社会状況になり、どうしたものかと思いつつも日々は過ぎていきます。
- ・スマイルタウン、いつも楽しみに読ませて頂いています。

応援ありがとうございます。

## ロビー展示のご案内

### ザ・オランダストロークペインティング展示会のご案内

ひの社会教育センターのトールペイント教室講師の

秋山千春先生と会員の皆さんの作品をロビーに展示します

日時 10月16日(金)~24日(土)

10:00~16:00

※18日(日)及び最終日は13:00まで

ヨーロッパのかおり漂う花々や景色をご堪能くださいませ。

皆さまのお越しをお待ちしております。



▶ 作品の一部  
「オランダの風車」



## 新館建設寄付者ご芳名

7/1~8/31 ご寄付いただいた方(順不同・敬称略)

多摩平卓球サークル 森下美千代

※ご希望によりお載せしていない方もおられます。

たくさん募金  
ありがとうございます。



募金総額 8/31 現在

409名+募金箱

¥24,801,883-